

3年言語の習得 (MYP4 Language Acquisition) 【外国語：4単位】

科目のねらい

MYP言語習得の指導と学習のねらいは、以下を達成することです。

- ・ 母語と自己の文化的遺産を維持しながら、付加言語に習熟する。
- ・ 多様な言語と文化的遺産に対する敬意と理解を身につける。
- ・ さらなる言語学習、また学習、就労、余暇などさまざまな実際の場面や、多様な受け手と目的に対応するために必要なコミュニケーションスキルを身につける。
- ・ マルチメディアやさまざまなコミュニケーションの伝達様式などの幅広い学習ツールを使用してマルチリテラシーのスキルを身につける。
- ・ さまざまな文学テキストおよび非文学テキストを鑑賞できるようになり、批判的かつ創造的な方法で意味の構築と解釈ができるようになる。
- ・ 思考、振り返り、自己表現、および他の科目の学習のための原動力として言語を認識、活用し、読み書きの能力を向上させるツールとしても活用できるようになる。
- ・ 言語の本質と、言語的、文化的、社会的要素から成る言語学習のプロセスを理解することができるようになる。
- ・ 言語が使用されているコミュニティの文化的特徴を理解できるようになる。
- ・ 自己の文化や異なる文化をもつ人のものの見方への意識と理解を養うことで、自己やその他のコミュニティへの参加と行動につながる。
- ・ 言語学習への興味、探究、および生涯にわたる関心、また言語の習得における喜びを養う。

目標および評価基準

MYP 評価観点	
A：聞くこと	i. 明示的および暗示的な情報（事実、意見、メッセージ、裏づけとなる詳細）を特定できる。
	ii. 表現技法を分析できる。
	iii. つながりを分析できる。
B：読むこと	i. 明示的および暗示的な情報（事実、意見、メッセージ、裏づけとなる詳細）を特定できる。
	ii. 表現技法を分析できる。
	iii. つながりを分析できる。
C：話すこと	i. 広範囲の語彙を使用できる。
	ii. 広範囲の文法的構造をたいてい正確に使用できる。
	iii. 明確な発音と抑揚を用いてわかりやすく話せる。
	iv. 必要なすべての情報を明確かつ効果的に伝達できる。
D：書くこと	i. 広範囲の語彙を使用できる。
	ii. 広範囲の文法的構造をたいてい正確に使用できる。
	iii. さまざまなシンプルおよび複雑な接続表現を使用して、的確な形式で効果的にわかりやすく情報を整理できる。
	iv. 文脈に合うように、受け手と目的をはっきりと意識したうえで、必要なすべての情報を伝達できる。

※ねらい・目標の記述は、IBO発行の「Language Acquisition Guide」に基づいています

関連概念（言語習得の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）第1～第2段階

1-2	受け手	形式	メッセージ	目的	文脈	機能
	パターン	構造	表現技法	意味	発音	言葉の選択
3-4	受け手	機能	視点	文脈	イディオム	目的
	表現技法	意味	構造	共感	メッセージ	言葉の選択
4-5	主張	共感	目的	受け手	イディオム	スタイル選択
	偏見	推測	テーマ	文脈	視点	ヴォイス

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月～10月)	1	1. 創造性 2. アイデ ンティ ティと 関係性 3. 思考ス キル、リ サーチ スキル	Topic 『Let' s describe our personal experiences』 学習指導要領との関連性【2 内容〔知識及び技能〕より】 ウ語、連語及び慣用表現(ア) 単語(主に個人の体験に関わ るもの、比較・最上級を表す 形容詞・副詞、動詞の過去分 詞等)エ文、文構造及び文法 事項 (ウ) 文法事項 e 動詞 の時制及び相など 現在完了 形、過去完了形 f 形容詞や 副詞を用いた比較表現	「聞くこと」Listening test 芸術作品についてのプレゼンテーションを聞いて質 問に答える【A】 「話すこと」Speaking test 英語の曲について、歌詞やミュージックビデオを分 析しプレゼンテーションをする【C】 「書くこと」Writing test カナダの友人から来たアメリカ滞在についての emailに返信を書く【D】	1. ①知識・技能-A ②思考・判断・表 現-D ③主体的に学習 に取り組む態度 -C 2. A-4
	2	1. つなが り 2. アイデ ンティ ティと関係 性 3. コミュ ニケー ション スキル	Topic 『Let' s help each other - Empathy/ Physical and Mental health』 学習指導要領との関連性【2 内容〔知識及び技能〕より】 ウ語、連語及び慣用表現(ア) 単語(主に健康に関わるもの、 名詞節の表現に関わるもの等) (ウ) 慣用表現 エ文、 文構造及び文法事項(イ) 文 構造 b 主語+動詞+目的語 のうち、how(など) to 不定 詞、what 等で始まる節のもの d 主語+動詞+目的語+補語 のうち、(b) 主語+動詞+目 的語+原形不定詞(ウ) 文法 事項 c 助動詞 e 動詞の時制 及び相など 助動詞などを 用いた未来表現 g to 不定詞	「読むこと」Reading & writing test メンタルヘルスと幸福についての文章を読み質問に 答える【B】 「聞くこと」Listening test 身体的な健康とストレスについてのポッドキャスト を聞いて質問に答える【A】 「話すこと」Speaking test オリジナルの医療ドラマをパートナーもしくはグル ープメンバーと制作し、劇として発表する【C】	1. ①知識・技能-B ②思考・判断・表 現-A ③主体的に学習 に取り組む態度 -C 2. A-2
後期 (10月～3月)	3	1. Connect ions 2. Fairnes s and Develop ment 3. Self- Managem ent Skills	Topic: 『Be a Global Leaders』 Students will learn about the different aspects of being a global citizen. They will learn about using relative pronouns such as which, who, and that. Students will also learn about second conditionals and be able to express sentences such using “I wish.”	「書くこと」Writing Test Students will write a blog post about how to solve local and global issues. 【D】 「読むこと」Reading test Students will read an essay about different global issues and challenges and answer questions. 【B】	1. ①知識・技能-D ②思考・判断・表 現-B 2. C-18